

シンポジウム

長寿命化建築を目指した  
外壁目地防水の最先端技術

-高信頼と適正寿命を実現するための  
性能設計・施工・診断・維持管理-

2018年12月3日

日 本 建 築 学 会  
材 料 施 工 委 員 会  
防 水 工 事 運 営 委 員 会

シール材性能設計指針準備小委員会

## 目 次

I. 主旨説明	1
II. 基調講演	
II - 1 建築市場の動向と長期使用時代の建築保全のあり方	4
藤本秀一（国土技術政策総合研究所 住宅研究部住宅計画研究室長）	
II - 2 顧客から見た性能設計・施工・保全への提言	8
伊東昭博（伊東外装計画事務所 所長）	
III. 委員会報告 1〔目地防水における性能設計〕	
III - 1 シーリング材を使用した目地防水における性能設計指針（原案）	19
III - 2 性能設計のためのシーリング材の耐久性評価試験法と区分の考え方	64
IV. 委員会報告 2〔外壁目地シーリングの防水性確保のための最新技術〕	
IV - 1 シーリング目地における接着性確保の事前確認方法	83
IV - 2 複合劣化を想定したシーリング材の耐久性試験方法の提案	97
IV - 3 ガasket性能の簡易評価方法の検討	126
V. 技術報告〔長寿命化のための外壁目地防水の診断・維持管理技術〕	
V - 1 ドローンを使った建物外壁の調査技術	139
宮内博之（建築研究所 主任研究員）	
V - 2 公営住宅を例とした外壁シーリング目地の改修技術	147
根本かおり（国土技術政策総合研究所 主任研究官）	
V - 3 シーリング目地の余寿命診断技法の適用と普及展開に向けて	161
野口修（㈱マサル 技術本部長）	